



2026年3月11日  
神奈川県  
相模原市  
東海旅客鉄道株式会社

## 中央新幹線神奈川県駅（仮称）の周辺開発を契機としたさがみロボット産業特区におけるイノベーションの創出促進に係る連携と協力に関する協定の更新について

神奈川県（知事：黒岩 祐治）、相模原市（市長：本村 賢太郎）、及び東海旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：丹羽 俊介、以下「JR東海」）は、2023年11月1日に締結した「中央新幹線神奈川県駅（仮称）の周辺開発を契機としたさがみロボット産業特区におけるイノベーションの創出促進に係る連携と協力に関する協定」について、これまでの取り組みをさらに深化・加速させるため、本日、協定内容を更新いたしましたのでお知らせいたします。

### 1. 連携及び協力する事項

- (1) ロボットの実用化、宇宙開発、新素材発明等に係る研究開発の推進
- (2) 前号の社会実装及び新産業創出の推進
- (3) イノベーション創出促進拠点の整備・運営
- (4) 企業誘致の促進、並びに起業の支援
- (5) 循環型社会の形成に関すること
- (6) 前号までの取組を推進するための多様なコミュニティの形成
- (7) その他前条の目的を達成するために必要な事項

※前回協定からの改訂箇所については「別紙」の通り

### 2. 再締結の背景・目的

協定締結から、ロボット、宇宙、新素材等に関わる企業・研究者等の交流促進を三者連携して進めるとともに、イノベーション創出に向けた実証実験等に取り組んできました。

これらの連携実績を基盤としつつ、引き続きより実効性の高いイノベーション創出を目指すとともに、その社会実装の推進に向けて連携協力することを確認するものです。

※これまでの取組み事例については「別紙」の通り

### 3. 今後の展開

さがみロボット産業特区において神奈川県が進めてきた生活支援ロボットの実用化及び普及促進の取組みと、相模原市が進める神奈川県駅（仮称）周辺のまちづくり及び市内産業活性化の取組み、JR東海が有識者や企業等と進める人々の生活を豊かにするための技術の社会実装等の取組みにおいて、それぞれが保有する知識や経験、関係者との関係性等を相互に活用し、さらなるイノベーション創出及びその社会実装に向けて協力していきます。

以上

別紙

1. 協定の変更箇所

連携と協力事項（2023年協定）	連携と協力事項（今回協定）
（1）ロボットの实用化、宇宙開発、新素材発明等に係る研究開発の推進	（1）ロボットの实用化、宇宙開発、新素材発明等に係る研究開発の推進
—	（2）前号の社会実装及び新産業創出の推進
（2）R&D拠点の整備・運営	（3）イノベーション創出促進拠点の整備・運営
（3）企業誘致の促進、並びに起業の支援	（4）企業誘致の促進、並びに起業の支援
（4）企業、研究者、学術機関の交流促進	（（6）に統合）
（5）循環型社会の形成に関すること	（5）循環型社会の形成に関すること
—	（6）前号までの取組を推進するための多様なコミュニティの形成
（6）その他前条の目的を達成するために必要な事項	（7）その他前条の目的を達成するために必要な事項

2. これまでの取り組み事例

■ 連携協定に基づく取り組み（※FUN+TECH LABO の取組事例）>

- ・ 神奈川県ロボット企業交流拠点事業及び相模原市のイノベーション創出促進拠点事業を受託し、神奈川県駅（仮称）付近においてさまざまな企業および団体や地域と連携したイベントを実施



自動運転用モビリティ体験



天体望遠鏡ワークショップ



「ロボッスポーツ」大会

- ・ 連携協定に基づく、「新素材開発等に係る研究開発」に向けた取り組み例



新幹線再生アルミルーバー

（大建工業×相模原市×ジェイアール東海商事×JR 東海）



環境配慮コンクリート

（大成建設×相模原市×JR 東海）



次世代太陽電池の実証実験

（PXP×日揮×神奈川県×相模原市×JR 東海）

※ 相模原リニア駅周辺において JR 東海が運営するイノベーション創出拠点